



2011年 平成23年

3.11

午後2時46分

東日本大震災発生



2011（平成23年3月11日～3月31日）

町を襲った巨大地震 さらに原発事故による町土汚染

2011. 3.11 午後2時46分 東日本大震災（震度6弱）発生

桑折町災害対策本部設置

4地区に避難所開設

3.14 東京電力(株) 福島第一原発事故により町土放射能汚染

3.17 相双地区からの被災者受け入れ

3.24 福島蚕糸跡地に応急仮設住宅建設開始

震災による被災家屋調査開始



平成23年3月11日午後2時46分、国内観測史上最大となるマグニチュード9.0の巨大地震が東日本全体を襲いました。浜通りでは、震度6強を観測したほか、沿岸部には最大波9.3m以上の大津波が押し寄せ、3,300名を超える尊い命が奪われました。

町内では震度6弱を観測、地震の揺れにより液状化現象・地盤沈下などによって、多数の家屋被害や道路の陥没、町の施設も郡役所をはじめ大きな被害を受けました。

さらに、東京電力(株)福島第一原子力発電所が津波の被害を受けて原子炉が制御不能となり、放射能漏れ事故が発生させました。この原発事故によって、町土が放射能で汚染されました。

